



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月7日

上場会社名 テイカ株式会社
コード番号 4027 URL <http://www.tayca.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 名木田 正男

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 山崎 博史

TEL 06-6208-6404

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	31,581	13.6	4,759	13.1	4,923	12.2	3,379	12.1
29年3月期第3四半期	27,801	2.2	4,208	22.8	4,388	21.2	3,016	22.3

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 5,325百万円 (45.8%) 29年3月期第3四半期 3,652百万円 (135.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	143.74	
29年3月期第3四半期	127.71	

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	58,667	43,956	74.5	1,858.16
29年3月期	53,975	39,224	72.3	1,659.20

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 43,686百万円 29年3月期 39,014百万円

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり純資産は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期		7.00			
30年3月期(予想)				14.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「-」として記載しております。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	12.4	6,100	4.2	6,100	2.2	4,200	3.2	178.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、平成30年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	25,714,414 株	29年3月期	25,714,414 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,203,668 株	29年3月期	2,200,242 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	23,512,501 株	29年3月期3Q	23,616,979 株

平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算出しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の拡大や雇用環境の改善などを背景に、設備投資の増加や個人消費の持ち直しの動きが見られ、不安定な国際情勢など懸念材料はあるものの、総じて緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況の下、当社グループは国内外での新規市場の開拓や既存取引先との関係強化などを積極的に推進するとともに、製造原価の低減、経営全般にわたる効率化を推進し、収益の向上に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、汎用用途の酸化チタンや化粧品向け表面処理製品等の機能性製品の販売が引き続き好調に推移しましたことなどにより、売上高は315億8千1百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益は47億5千9百万円（前年同期比13.1%増）、経常利益は49億2千3百万円（前年同期比12.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は33億7千9百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

セグメント別の業績につきましては、酸化チタン関連事業の売上高は169億5百万円（前年同期比9.8%増）、その他事業の売上高は146億7千5百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

なお、平成30年1月5日付で、アメリカの圧電材料メーカーでありますTRS Technologies, Inc.の全株式の取得を完了し、子会社化いたしました。同社は圧電材料、特に圧電単結晶事業に注力しており、この分野のリーディングカンパニーの一つであります。当社グループは、今後既存の圧電セラミックス事業とともに圧電材料事業の更なる拡大を進めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産総額は、586億6千7百万円（前連結会計年度末比46億9千1百万円増加）となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が16億2千4百万円、投資有価証券が26億2千万円、それぞれ増加したことによります。

負債合計は、147億1千1百万円（前連結会計年度末比4千万円減少）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が5億9千7百万円増加し、未払法人税等が5億7千2百万円減少したことによります。

純資産合計は、439億5千6百万円（前連結会計年度末比47億3千1百万円増加）となりました。これは主に、利益剰余金が27億6千8百万円、その他有価証券評価差額金が18億2千万円、それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,693	12,378
受取手形及び売掛金	11,498	13,122
商品及び製品	4,380	4,214
仕掛品	535	637
原材料及び貯蔵品	1,956	2,668
その他	497	785
流動資産合計	31,561	33,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,242	4,464
機械装置及び運搬具(純額)	5,118	4,943
その他(純額)	2,145	1,936
有形固定資産合計	11,507	11,344
無形固定資産	49	47
投資その他の資産		
投資有価証券	10,067	12,687
その他	812	802
貸倒引当金	△23	△21
投資その他の資産合計	10,857	13,468
固定資産合計	22,414	24,859
資産合計	53,975	58,667

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,859	4,457
短期借入金	662	1,410
未払法人税等	1,091	519
賞与引当金	367	193
その他	2,944	2,488
流動負債合計	8,925	9,069
固定負債		
長期借入金	1,055	129
環境対策引当金	12	1
退職給付に係る負債	3,188	3,191
その他	1,569	2,318
固定負債合計	5,825	5,641
負債合計	14,751	14,711
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,855	9,855
資本剰余金	6,766	6,766
利益剰余金	19,204	21,973
自己株式	△1,780	△1,787
株主資本合計	34,047	36,808
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,104	6,924
繰延ヘッジ損益	△42	28
為替換算調整勘定	116	122
退職給付に係る調整累計額	△211	△197
その他の包括利益累計額合計	4,967	6,877
非支配株主持分	209	269
純資産合計	39,224	43,956
負債純資産合計	53,975	58,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	27,801	31,581
売上原価	19,608	22,648
売上総利益	8,192	8,932
販売費及び一般管理費	3,984	4,173
営業利益	4,208	4,759
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	143	174
その他	73	43
営業外収益合計	218	221
営業外費用		
支払利息	22	23
たな卸資産廃棄損	8	4
その他	7	29
営業外費用合計	38	58
経常利益	4,388	4,923
特別利益		
投資有価証券売却益	22	—
特別利益合計	22	—
特別損失		
固定資産除却損	105	118
ゴルフ会員権評価損	—	1
特別損失合計	105	120
税金等調整前四半期純利益	4,305	4,802
法人税、住民税及び事業税	1,159	1,339
法人税等調整額	103	57
法人税等合計	1,263	1,397
四半期純利益	3,042	3,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	26	26
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,016	3,379

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	3,042	3,405
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,131	1,820
繰延ヘッジ損益	13	71
為替換算調整勘定	△559	14
退職給付に係る調整額	25	13
その他の包括利益合計	610	1,919
四半期包括利益	3,652	5,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,651	5,290
非支配株主に係る四半期包括利益	1	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,402	12,398	27,801	—	27,801
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	363	363	(363)	—
計	15,402	12,761	28,164	(363)	27,801
セグメント利益	2,561	1,642	4,204	3	4,208

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	酸化チタン 関連事業	その他 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,905	14,675	31,581	—	31,581
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	467	467	(467)	—
計	16,905	15,143	32,048	(467)	31,581
セグメント利益	3,223	1,539	4,762	(2)	4,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△2百万円は、セグメント間取引消去額によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。